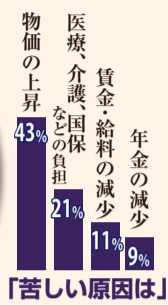
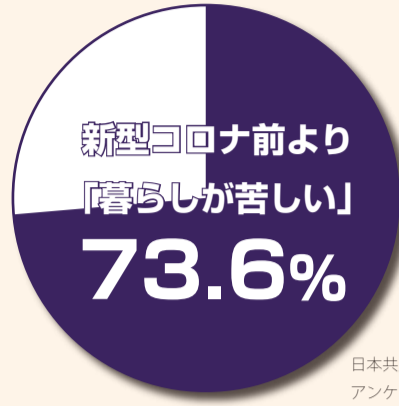


4月の選択
日本共産党
4→5人で

くらし応援第一の狛江に



日本共産党狛江市議団の市政アンケート結果より（回答数 633人）

「物価があがりスーパーで安売りしている弁当しか買うことができない(20代・正社員)」「給料変わらず、諸物価上昇、毎月の医療、介護料の負担が重い。赤字をいつまで持ちこたえられるか不安(60代・契約社員)」

日本共産党
市議会議員

岡村しん



40年ぶりの物価高騰の中、悲痛な市民の声が相次いでよせられています。この声を見無視して岸田政権と自民党、公明党がすすめる43兆円もの大軍拡・大增税に怒りが広がっています。こんな時こそ、狛江市は市民のくらし応援を守るべきです。

多摩地域初「第三子から無償化」実現 さらに前へ

学校給食無償化はすべての子どもに

いま、全国でも都内でも、子育て支援対策として学校給食費の無償化が進められ、おとなり世田谷区もふみだしました。日本共産党狛江市議団は2018年3月からくり返し給食費無償化を

要望。市民のみなさんの声におされ、多摩地域ではじめて、2023年度から第三子の学校給食費の無償化がスタートします(140世帯が対象)。さらに拡充し、完全無償化をめざします。



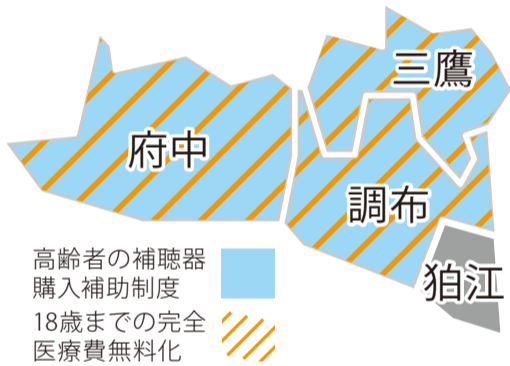
周辺自治体で次々 ただちに狛江でも

18歳までの医療費の完全無償化の実現を

都の事業として、制限付きの18歳までの医療費の無償化が実現。近隣市は独自に上乗せして所得制限をなくしています。狛江市でも完全無償化をめざします。

高齢者の補聴器購入費の補助制度の導入を

高齢者のみなさんから、補聴器が高すぎて買えないという声があがっています。東京都の補助金を活用して、市に補聴器の購入費助成制度をつくらせます。



防犯・防災 命をまもる

- 安心安全パトロールの強化
- 街路灯の増設
- 豪雨・地震災害対策の強化
- 狛江調布保健所の復活を

新型コロナ累計感染者数は、狛江市が人口当たりで多摩地域最多でした。狛江市含む6市104万人という保健所管轄を見直し、狛江調布保健所の復活で、感染症対策強化を。

市民の声を市政へ

- 国保税・介護保険料の負担を軽減
- 市民・事業者へ物価高騰対応の支援を
- 学童クラブの増設
- 小中学校のトイレに生理用品常備
- ひとり親家庭・若者への家賃補助制度
- ジェンダー平等実現へ
- 気候危機打開へとりくみ促進
- 公共交通機関の利便性向上
- 住民本位のまちづくり
- 中央図書館は現在地で充実を

改善してきた市の財政 今こそ暮らしへ

くらしを守りながら、土地開発公社の借金48億円を含む100億円余の借金を返済した矢野市政。以来、長年の努力が実って、市民のために使える財政調整基金は20億円にも増えました。市の財政力は、市民のくらし支援に使わせましょう。

23億円も
黒字に
(2021年度)

財政調整基金
20億円超

大軍拡・大增税 岸田政権と自民党・公明党の暴走にノーを



日本共産党
市議会議員

岡村しん

おかむら伸

3歳・8歳の
子育て中

3期12年、市民の命とくらしを守ることに注力してきました。2人の子どもの親として、子育て対策の推進、災害対策やまちづくりなど住みよい狛江の実現に全力でがんばります。

【略歴】1978年東京都生まれ、45歳。
● 狛江市立三小、二中、農大一高、青山学院大学経済学部卒、診療所で事務主任をつとめる ● 2011年の狛江市議選で初当選、現3期。党市議団副幹事長 ● 家族は妻、子ども2人 ● 趣味は読書、サッカー観戦

みんなが住みやすい 狛江へ全力投球

<活動地域>
猪方1丁目、東利泉1・2丁目、岩戸北3・4丁目、岩戸南1・2・3丁目、(水道道路以北の)岩戸北4丁目および駒井町1・2丁目